

## わくわく園に 園名板寄贈

わくわく園の園名板が9月12日に寄贈されました。  
園名板は、わくわく園の吉田寛園長の次女、明日香さん(愛知県在住)が制作したものです。たくさんの動物が登場していて、かわいらしい作品になっています。



## わくわく園祖父母参観日& おまつりごっこ

秋まつりに合わせて、わくわく園の「おまつりごっこ」が、9月15日に行われました。  
今年は、4歳児以下の子どもたちがわくわく園の中庭でけん玉や綿あめ、かき氷などの露店を開き、おまつりを楽しんでいました。  
また、5歳児の子どもたちは同日行われた祖父母参観日で、祖父母とカラーを作りました。一生懸命作ったカラーを笑顔でおいしそうに食べていました。



## 柔道大会でサハリン州へ

講道館柔道創設者嘉納治五郎師範サハリン州来島記念柔道大会に出場する、木村玲音さん(訓中1年)が9月20日に役場を訪れました。

この大会は、サハリン州に同行する指導者やコーチが、技術や成績、将来性などを総合的に判断し、道内各地から選手の選考をしています。  
木村さんは「得意技を生かし、試合に臨みたい」と意気込みを話していました。



## 居小 収穫祭

### 楽しく調理



居武士小学校的収穫祭が9月21日に行われました。今年は各グループがそれぞれ作りたいメニューを考え、シチューや肉じゃが、ビーマンの肉詰めなど野菜をたくさん使った「オロムシ野菜フェスティバル」として開催しました。  
児童17人は、学校菜園で栽培、収穫したジャガイモやニンジンなどの食材を切ったり、鶏肉を炒めたり楽しく調理をしていました。

## まちの



## 秋のロードレース大会



### 秋晴れの下、 子どもたちががんばった

秋のロードレース大会が9月3日、訓子府中学校グラウンド発着のコースで開かれ、秋晴れの下、幼児から一般まで約250人が参加しました。  
コースは、1kmから5kmまでで、訓中から常呂川堤防を走り、また訓中に戻ってきます。幼児は、保護者と一緒に1kmを走り、「がんばれ、がんばれ」と声援を送り、子どもたちも顔に汗をいっはいに流しながら、ゴールをめざしました。このほか、小学生、中学生らが多数参加し、心地よい風が吹く堤防で健脚を競い、ゴールまで一生懸命走りまわりました。

## 居小の野外調査学習

### 訓子府のまちを再発見

居武士小学校的の「秋の野外調査学習」が、9月12日に行われました。児童がテーマをもって、校外に繰り出ささまざまな学習をする活動で、毎年実施しています。  
今回1、2年生が町中心部の商店で、買い物学習をしました。いろいろな商品の値段を確認しながら購入し、社会勉強をしました。  
また、3、4年生は、町内の消防設備探しを行い、5、6年生は工場を見学するなど、あらためて訓子府のまちを再発見していました。



## 秋まつり素人絵日記展

「2016秋まつりふれあい素人縁日&くねっぴ元氣ステージ」が9月17日と18日、仲町公共駐車場で行われました。

家族連れなどが大勢詰めかける中、キャラクターすくいや射的、焼き鳥などの露店のほか、特設ステージでは、キッズダンスなどが繰り広げられ、会場を盛り上げました。

また、歴史館内で秋の子ども祭りも開催され、訓子府高校ボランティア部によるアイロンピズ作りやネイルアートなどのほか、着物を着る体験など、子どもたちは訓子府の秋を存分に楽しんでいました。

